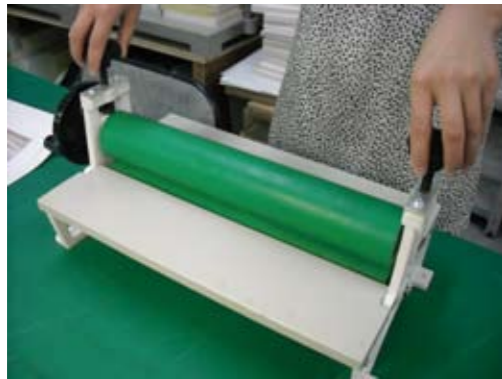


手動ラミネーターの使い方

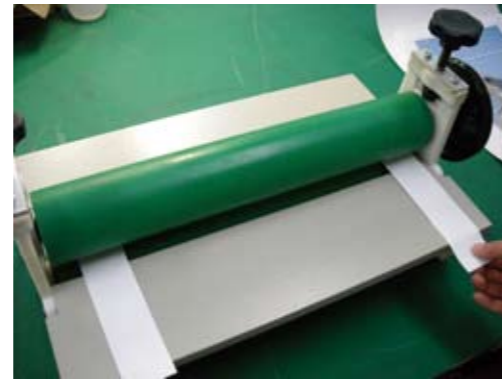
(株)フォーラム

①



ラミネーター上部左右のツマミを回し、ローラー圧を調整します。上下のゴムローラーに軽く圧力がかかる程度で左右均一になるように調整します。

②



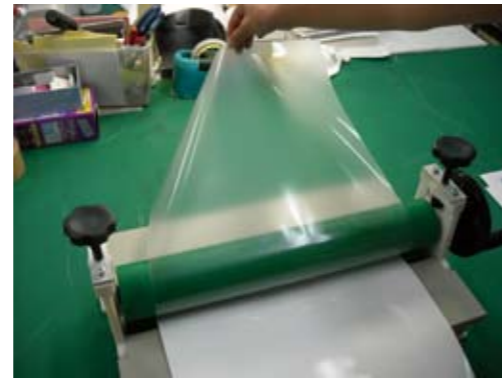
左右にコピー用紙を挟んで、引っ張りながら調整をすると、左右が均一かどうか確認できます。

③



写真のようにラミネートフィルムを、フィルムが上になるように、ローラーに3～5cm程度はさんで固定します。ラミネートフィルムは写真より、一回り大きなものを使用します。

④



フィルムを剥離紙からはがして、反対側に上げていきます。

④-2



PPMやPPGなどの薄いフィルムの場合は、写真のように長いボール紙等に、粘着テープを付けて、ボール紙ごと剥離紙からフィルムを持ち上げるとシワになりません。

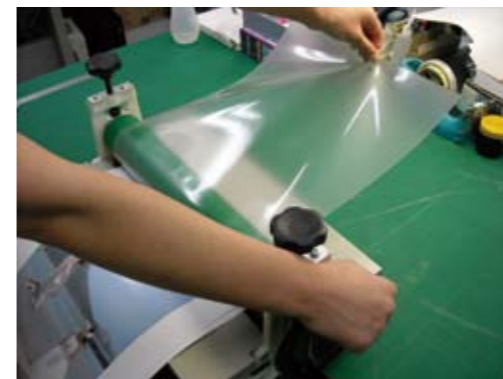
⑤



剥離紙とフィルムの間に写真を置いて、ローラー側に寄せます。

ご注意
長期間使用しない場合は、ローラー間を離して保管してください。ゴムローラーに圧力がかかったまま、保管するとローラーが変形することがあります。

⑥



ラミネーターのハンドルを回して、フィルムを前進させます。この時にフィルムは写真のように常に反対方向へ軽く引っ張ってください。上手くいかないときには他の人にフィルムを持ってもらいましょう。

⑦



最後は指でフィルムをローラーに押し付けるようにして、フィルムがたるまないようにしてください。フィルムがたるむと、気泡発生の原因になります。

⑧



写真の裏側から、余分なラミネートフィルムをカッターなどで、切り落とします。

⑨



完成です。

フィルムと写真の間に気泡が入ってしまう

大きな気泡の場合は

①ローラー圧が左右で違っている
もう一度ラミネーター上部のつまみでローラー圧力を調整してください。

②作業中にラミネートフィルムがたるんでしまった
ラミネート作業中は、常にフィルムがたるまないよう少し反対方向に引っ張った状態を保ってください。

細かい気泡が全面に出してしまう場合は

特にマット系のラミネートフィルムを使用するとこのような現象が起こることがあります。これはローラーの圧力不足です。少しローラーの圧力を上げてください。または、もう一度圧力を上げたローラーに通すと、直ることもあります。

ラミネートにごみやほこりが混入する

①ゴミやほこりの原因の一つは、作業前の写真に付着しているゴミをそのままにして作業をしてしまうことにあります。作業の前に、写真の上のゴミ、ホコリを取り除きましょう。フィルムクリーナーやクリーニングクロス、弱粘性のクリーニングローラー等を利用するとよいでしょう。また、**乾燥はホコリを発生させる原因なので、部屋を十分に加湿すると効果的です。**

②作業中はほこりが空気中に舞うのを防ぐために、エアコン、扇風機、エアークリーナーなどの風が出るものはスイッチを切ってから作業しましょう。
③セーターや、起毛の服を避けて、ナイロン製ブルゾンなどで袖口を絞った服装で作業しましょう。特に冬場は、ラミネートフィルムや写真の静電気によって、空気中のホコリを吸い寄せてしまいます。静電気防止グッズなどを活用して、静電気対策をしましょう。